

■令和5年12月25日号(第1864号)

- ・洋上風力 檜山沖協議会が初会合＝促進区域指定に向け議論開始
- ・海外港湾物流プロジェクト協議会開催＝第14回、官民情報共有、意見交換
- ・航空局 空港脱炭素化推進計画＝2050年CNへ取組加速
- ・日・シンガポール CO2削減協力で覚書締結＝グリーン・デジタル海運回廊
- ・横浜港 新本牧地区中仕切堤整備＝第4四半期にSCP地盤改良
- ・北開局 5年度第3回事業審議委員会を開催＝石狩湾新港東地区国際物流T等
- ・金沢港 将来ビジョン案まとめ＝大浜沖合にCT新設等
- ・金沢港 大野防波堤改良、航路浚渫＝5年度補正予算で事業促進
- ・伏木富山港 5年度補正に合計16億円＝伏木地区防波堤(北)改良等
- ・仙台塩釜港 石巻港区防波堤(南)築造＝水深13m岸壁の航路・泊地も
- ・東北地整 第3回事業評価監視委員会＝仙台塩釜港石巻港区雲雀野等
- ・業務入札結果(令和5年10月契約分)
- ・熊本港 水深7.5m岸壁の初弾工＝作業船入港へ補正予算で浚渫
- ・大分港 大在西地区ROROバース＝補正予算措置で6年度完成へ
- ・四国地整 事業評価監視委員会開催＝松山港、高知港の国際物流T
- ・川内港 唐浜地区水深12m岸壁＝補正予算で促進、築造開始
- ・下関港 本港地区10m岸壁改良＝補正予算で床版等の製作工
- ・大阪港 港湾計画一部変更案＝南港東に物流施設用地
- ・関東地整 低炭素型材料活用の取組＝C種セメント利用等試行工事
- ・国総研 5年度国総研講演会を開催＝『地震災害へのチャレンジ』
- ・MEMPHIS会 第25回講演会開催(東京)＝維持管理業務の向上へ
- ・港コン協 九州地方整備局と意見交換＝頼れるパートナーの役割へ
- ・秋田県 洋上風力導入技術研究会＝沖合への設置可能性を検討
- ・応用地質 三洋テクノマリンを買収＝洋上風力市場へ体制強化

■令和5年12月18日号(第1863号)

- ・洋上風力 第2ラウンド事業者決定＝秋田・新潟・長崎の評価結果公表、八峰町・能代市沖は港湾重複で再選考
- ・航空局・港コン協 初の意見交換会を開催＝災害協定の在り方等協議
- ・航空局 5年度補正、ゼロ国46億円＝滑走路改良、RESA整備等
- ・港湾局・海事局 クルーズ受入促進＝補助事業2件の公募開始
- ・4年度直轄工事契約 港湾空港は3469億円＝国交省が概要発表
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭岸壁整備促進＝補正で本体杭120本打設
- ・名古屋港 中空沖新土砂処分場整備＝西I工区の外周護岸進捗へ
- ・久慈港 湾口防波堤延伸、2函築造＝基礎外工(その2)も予定

- ・北開局 港湾関係5年度補正予算＝石狩湾新港東地区岸壁整備等
- ・酒田港 小口混載貨物輸出を支援＝ポートセールス協議会
- ・苫小牧港管理組合 パワーエックスと連携＝電気運搬船で脱炭素化推進
- ・堺泉北港 汐見沖国際物流ターミナル＝補正で80本築造、大幅進捗
- ・高知港海岸 補正予算で9件の海岸工事＝ケーソン製作や護岸改良等
- ・備讃瀬戸航路 水島航路交差部浚渫＝WTO、約1.6万m³、覆砂等
- ・徳島県 橘港港湾脱炭素化協議会＝初会合開催、来年度計画策定へ
- ・舞鶴港 和田地区12m岸壁第2B＝補正でケーソン5函製作へ
- ・沖縄開建部 5年度補正予算発注工事＝石垣港新港地区防波堤等
- ・工事入札結果（令和5年10月分）
- ・東洋建設 自航式ケーブル敷設船建造＝国内最大級、着床基礎、浮体係留施工にも対応
- ・リサイクルポートセミナー 脱炭素社会へ港湾局、環境省が講演
- ・沿岸センター 第34回台日工程技術研究会＝下迫沿岸C審議役らが講演
- ・沿岸センター 評議員による視察会開催＝第二海堡の現場や港空研施設
- ・沿岸Cコースタルテクノ 廣井京大准教授が講演＝AI活用ではルールが必要
- ・海技協が合格者発表 登録海上起重基幹技能者103名、海上起重作業管理技士93名
- ・北海道檜山沖洋上風力＝計画段階配慮書を縦覧
- ・三井E&Sら ドローン飛行ルート生成＝ソニー製で実験、連携確認

■令和5年12月11日号（第1862号）

- ・5年度補正予算 港湾関係事業費1282億円＝国土強靱化に795億円計上
- ・航空局 空港脱炭素化推進計画認定式＝成田・中部・関西・大阪
- ・港湾局 CTセキュリティ対策＝ガイドライン作成、省令改正等
- ・港湾談話室 秋の叙勲・褒章お祝いの会＝150人参加し受章者祝福
- ・IMO総会・理事国選挙 日本がトップ当選＝國場副大臣が一般演説
- ・新潟港 補正予算で基地港整備着手＝高圧噴射等地盤改良工2件
- ・八戸港 補正予算に約20億円計上＝WTOで航路泊地浚渫工事
- ・小名浜港 第二沖防波堤の延伸など＝補正予算でケーソン2函築造
- ・関東地整 発注見通し（12/1）講評＝中防外Y3バースなど
- ・仙台技調 民間技術発表会開催＝8テーマの技術紹介
- ・東北港湾 技術ビジョン検討委＝初会合、来年取りまとめへ
- ・北九州空港滑走路延長事業着工＝3000m化、貨物需要増、地域発展に期待
- ・徳山下松港 水深19m大水深岸壁整備＝補正予算でドルフィン調達
- ・下関港 韓国でセミナー開催＝前田市長がプレゼン
- ・須崎港 脱炭素化推進協議会＝高知県初、来年度計画策定へ
- ・業務入札結果（5年9月契約分）

- ・沿岸センター コースタルテクノ2023＝京大防災研の廣井氏が特別講演
- ・全国海岸事業協議会 第27回海岸シンポ開催＝新技術で維持管理や長寿命化
- ・海上GPS機構・近畿地整 GNS S測位技術講習会＝若手技術者ら参加、意見交換
- ・港空研・技術振興会 第1回官民技術交流会開催＝沿岸環境のテーマで意見交換
- ・福岡市港湾空港局 博多－新潟航路が就航＝コンテナ船「みわ」歓迎訪船
- ・洋上風力 浮体式共通基盤を開発＝GI基金、次世代風車技術を追加募集
- ・横浜市 山下ふ頭再開発検討委＝第2回学識者会合を開催
- ・JMU セミサブ浮体の連成解析＝商用展開に大きく前進
- ・三井海洋開発 FPSOの検査ドローン＝テラドローンと覚書締結
- ・東京ガス 英国オクトパス社の洋上風力ファンドに出資

■令和5年12月4日号（第1861号）

- ・しげもと まもる君を育てる会 参院選2025に向けて交通運輸観光業基盤に旗揚げ
- ・港湾工事 ICT活用で生産性向上＝i-C o n推進委員会、要領改定等に取り組み
- ・国交省 繋離船作業安全問題検討会＝「安全な港湾利用を支える活動」
- ・港湾局 CNP認証制度を試行＝東京港等6港、海外港湾も
- ・港湾工事 技術カタログ策定へ＝現場ニーズを公表、技術募集
- ・東京国際空港 鉄道アクセス工事開始＝ECI方式各工区も準備に
- ・清水港 新興津耐震強化岸壁第3B＝ケーソン製作等を手続き中
- ・四日市港 長期構想検討委員会＝中間まとめ、パブコメへ
- ・東京都港湾局 中防外で現場見学会＝Y3地盤改良工事など
- ・北陸地整ら 敦賀港鞠山南地区国際物流T＝拡張部分供用式典、更なる岸壁延伸に期待
- ・茨城県 「いばらきの港説明会」開催＝茨城港・鹿島港の利用呼び掛け
- ・東京港 水際危機管理テロ対策＝国際クルーズTで合同訓練
- ・大阪港 排砂管部浚渫の第2工区＝来年度後半から主航路浚渫
- ・荻田港 新松山国際物流ターミナル＝水深12m岸壁の泊地浚渫
- ・広島港海岸 吉島地区で防災フェア＝地元住民がVR体験等
- ・松山空港RESA 潜水土による磁気探査へ＝年内にも公有水面埋立申請
- ・香川県 特定重要拠点空港・港湾＝防衛省らがコンタクト
- ・熊本港・空事務所 「海輝」売払公告
- ・浚渫協会 港湾局長要望、意見交換会＝時間外労働規制遵守への対応
- ・港コン協 関東地整局と意見交換会＝衛藤副局長に要望書手交
- ・港コン協 近畿地整局と意見交換会＝魚谷副局長に要望書手交
- ・埋浚協ら 港湾工事安全研修会＝関東地整港湾空港部が講演
- ・東洋建設 第2四半期決算、増収増益＝洋上風力事業トップシェア目指す
- ・東亜建設工業 第2四半期連結決算＝受注高等全て過去最高

- ・日本気候リーダーズ GXによる脱炭素化加速＝西村経産相に提言書手交
- ・マリナー・ビーチ協 第1回「未来を語る夕べ」＝スーパーヨットのテーマで講演
- ・大林組 3DプリンターでTLP型模型＝浮体基礎シミュレーション

■令和5年11月27日号（第1860号）

- ・国土交通省 i-C o nの活用・拡大＝推進委員会、ICT等活用工事要領等を議論
- ・羽田空港跡地 H I C i t yオープン式典＝エアポートシティ誕生、斉藤大臣、小池知事も祝福
- ・港コン協 港湾局長に要望書手交＝各局への5年度要望活動開始
- ・設計士会 港湾局へ令和5年度要望＝性能規定の見直し等
- ・日ASEAN ラオスで交通大臣会合＝新アクションプランを採択
- ・中部空港第2滑走路 議員連盟と期成同盟会が集会＝国交省等に早期実現を要請
- ・北陸地整・埋浚協 若手技術者発表会開催＝7名が現場体験等説明
- ・四日市港 脱炭素化推進協議会開催＝今年度末に計画取りまとめ
- ・北開局 総合防災訓練を実施＝防災ICT活用し通信訓練等
- ・東北地整 地震・津波防災訓練＝小名浜港でオンライン実施
- ・名古屋港湾事務所 環境整備船「白龍」参加＝石油コンビナート防災訓練
- ・中部空港中間決算 営業利益4期ぶりに黒字計上＝国際便数は回復基調も7割
- ・東京都 6年度予算見積りまとめ＝東京港整備に871億円
- ・北九州港空事務所 響灘地区で洋上風力支援＝北九空港は国際物流の要に
- ・中国地整 港コン協と若手技術者交流会＝官民双方の立場で意見交換
- ・工事入札結果（令和5年4～8月契約分）（沖縄開発建設部）
- ・業務入札結果（令和5年4～8月契約分）（沖縄開発建設部）
- ・自然エネ財団 浮体式の加速に向けた提言＝今後10年の導入候補海域等
- ・東洋建設 AIモデル作成物体検知システム＝OKIらと協働、建設DX推進
- ・東洋建設 転勤手当制度を新設＝「人財」への投資
- ・洋上風力 第3R公募指針案まとめ＝経産・国交合同会議、EEZの案件形成等議論
- ・IAPH アブダビで世界港湾会議＝国際海運からのGHG削減等
- ・苫小牧港利用促進協 韓国でポートセールス＝セミナー、情報交換会実施
- ・沿岸センター 海洋・港湾構造物維持管理士＝5年度資格認定試験100名受験
- ・港コン協 全国地方整備局等へ要望＝5年度意見交換会開催日程

■令和5年11月20日号（第1859号）

- ・港湾関係5年度補正 事業費総額1156億円＝国土強靱化には795億円
- ・港湾局 港湾工事のCO2削減＝CNに向けたロードマップ
- ・港湾局 設計段階からの新技術導入＝技術を公募しカタログ策定

- ・港湾局 港湾技術パイロット事業＝3件目のテーマで検討開始
- ・国総研 令和5年度補正予算＝横須賀実験施設機能強化等
- ・名古屋港 大規模津波防災総合訓練＝南海トラフ地震想定、67機関が陸・海・空で連携
- ・伏木富山港 利用促進セミナーin東京＝新田知事「選ばれ続ける港へ」
- ・御前崎港 港湾脱炭素化協議会開催＝計画骨子案示し議論
- ・業務入札結果（5年7月～8月契約分）
- ・宮津九州地整部長 物流変化に対応した港湾＝北九州港では滑走路延長
- ・中国地整 事業評価監視委員会開催＝広島港出島、徳山下松港等
- ・播磨臨海地域 カーボンニュートラル推進＝第2回勉強会開催、予算要望
- ・八代港 地域への効果等を整理＝検討会初会合を開催
- ・志布志港 第2回脱炭素化推進協＝追加アンケートで計画具体化
- ・細島港 脱炭素化推進協議会設立＝計画策定は来年度以降
- ・埋浚協会 関東地整局と意見交換＝「工期指定・荒天リスク精算型試行の拡大を」
- ・海上GPS機構 GNS S測位技術講習会＝四日市港地盤改良工事を見学
- ・港空研・国総研 5年度港湾空港技術講演会＝DXとGXのと取組をテーマに
- ・洋上風力 松前沖協議会が初会合＝北海道初、促進区域指定に向け議論
- ・NEDO アンモニア燃料船の開発＝技術開発を追加募集
- ・五洋建設 第2四半期決算状況＝売上1785億円（22%増）
- ・広島県東部港湾セミナー＝振興協会、福山港箕島地区の整備に期待
- ・NEANET 20周年記念フォーラム＝北東アジア交流の将来（11月28日開催）
- ・五洋建設人事（11月15日）

■令和5年11月13日号（第1858号）

- ・作業船の建造 中長期の事業量見通し必要＝官民会議で具体策を検討へ
- ・航空局 空港土木施設の維持修繕＝官民による連絡会を開催
- ・濱口梧陵国際賞授賞式 磯部教授ら受賞＝高校生作文コンテスト初開催
- ・日中韓 北東アジア港湾局長会議＝韓国で4年ぶりの対面開催
- ・港湾局 サイバーポートセミナー 12月6日、WEB開催
- ・横浜港 新本牧護岸に生物共生板＝みなとのブルーインフラ整備
- ・常陸那珂港区 東防波堤で2函築造工事＝中央地区ケーソン1函追加
- ・姫川港 水深11m岸壁の整備促進＝小型船だまりの確保も必要
- ・横浜市港湾局 豪会社の海事PFを採用＝船舶からの排出ガスを把握
- ・新潟技調 「技術情報交流会」開催＝企業に加え大学・事務所も
- ・工事入札結果（5年9月契約分）
- ・中城湾港 水深11m岸壁第2バース要望＝RORO受入機能の強化等
- ・別府港 石垣地区のふ頭再編計画＝フェリーの大型化に対応

- ・八代港 大築島土砂処分場整備＝手続き中工事でC護岸概成へ
- ・徳島小松島港 赤石地区の機能強化要望＝水深13m岸壁を80m延伸へ
- ・高松港 コンテナ第2バース検討＝クルーズバースはジャケット式で
- ・坂出港 32ha海面処分用地確保＝港湾計画一部変更で了承
- ・第9回 四国のCNP勉強会＝管内港湾の取組状況等
- ・四国地整 事業評価監視委を開催＝東予港複合一貫輸送T
- ・港コン協 「改訂新版港湾工学」が受賞＝沿岸域学会から出版・文化賞
- ・若築建設・九州築友会 若松みなと祭り会場清掃＝協力会職員ら350人が参加
- ・環境省 洋上風力のアセス制度＝法改正に向け中環審が答申へ
- ・志布志港ポートセミナー 都内で開催＝産直港湾から農産物の輸出等
- ・高知龍馬空港 新ターミナルビル整備＝内際共用、来1月から基本設計へ
- ・佐賀空港 滑走路延長PIレポート＝東側延長案は事業費120億円
- ・海事局・経産省 内航船の運航効率化＝支援事業4件を採択
- ・沿岸センター コースタルテクノ2023(11月29日開催)

■令和5年11月6日号(第1857号)

- ・稲田港湾局長ら 米・ロサンゼルスでシンポジウム＝港湾脱炭素化、グリーン海運回廊
- ・日港連 港湾局、航空局と意見交換＝事業量、適正な利潤確保等要望
- ・港湾局 第90回港湾分科会開催＝改訂2港、一部変更5港
- ・秋の叙勲 瑞中に佐藤氏、山口氏、高橋氏＝瑞小は佐藤氏ら4名が受賞
- ・港湾局 クルーズ受入高度化等＝第4回公募
- ・海事局 訪日観光魅力向上＝第4回公募
- ・酒田港 港湾計画一部変更を了承＝洋上風力発電基地へ岸壁等
- ・酒田港 ブルーインフラ実験場＝全区画で実証実験始まる
- ・みなとオアシス沼津 Sea級グルメ全国大会＝過去最高12.5万人で賑わう
- ・業務入札結果(令和5年4～6月)(九州地整・北開局)
- ・水島港 塩生埠頭の係留施設改良＝来年度からの延長部の事業化も
- ・九州地整 唐津港東港、鹿児島港臨港道＝事業評価監視委で事業継続
- ・大阪航空局 管内ターミナルビル事業者懇談会開催＝福岡空港増設滑走路整備等
- ・三池港 港湾がもたらす経済効果＝検討会で定量・定性的に整理
- ・埋浚協会 名古屋港で会長パトロール＝供用中のCTでの安全対策
- ・PMKマリン(五洋・鹿島・寄神) SEP「CP-16001」公開＝響灘洋上風力で初稼働へ
- ・第109回日港連セミナー＝AI活用事例、建設業の環境整備
- ・東洋・関海事 海底ケーブル埋設技術＝ウォータージェット式、NEDO採択
- ・NEDO 洋上風力低コスト施工＝東亜、東洋・関海事に委託
- ・若築建設 技術研究所に新棟増築＝DX強化、SDGsの取組

- ・あおみ建設 5年度施工技術報告会＝知見の水平展開で技術向上
- ・九州地整 みなとオアシス天草牛深＝観光庁の補助事業に採択
- ・中空の上期実績 前年度比 169%＝国際線回復がカギ
- ・海洋・港湾維持管理士会 第25回講演会（12/13）＝羽田空港の維持管理等
- ・航空局 第24回空港技術報告会＝1月開催、報告議題を募集

■令和5年10月30日号（第1856号）

- ・港づくり全国大会開催＝港湾予算満額確保へ結集
- ・自民党港湾議連 総会開催、緊急要望採択＝資材高騰等に対応が必要等
- ・港湾議連 財務省主計局に緊急要望＝森山会長ら32名が駆け付け
- ・しげもとまもる氏＝東京事務所を開設
- ・港湾局 クルーズ受入高度化等＝採択事業を決定
- ・茨城県が要望 常陸那珂中央ふ頭Eバース＝外貿RORO船需要に対応
- ・酒田港 基地港湾指定や係留施設等＝吉村知事が斉藤大臣に要望書
- ・室蘭港 都内で利用促進懇談会＝青山市長が港の利用呼び掛け
- ・広島港空事務所 出島地区の岸壁延伸を促進＝福山興でふ頭再編事業進む
- ・近畿地整 神戸港臨港道路載荷試験工＝五洋JV、東亜JVで実施へ
- ・油津港 水深12m岸壁を延長へ＝RORO船大型化でシフト
- ・業務入札結果（令和5年4月～6月契約分）
- ・SCOPE 洋上風力セミナーWeb開催＝最新情報紹介、900アクセス
- ・日建連 海洋安全部会研修会開催＝海保庁の福木室長が講演
- ・三河港湾事務所・田原市 海からの防災NW構築＝伊良湖の被災者支援訓練
- ・下関港東京セミナー開催＝前田市長が優位性をアピール
- ・北九州市 若港と災害時支援協定＝クラブ浚渫船「海響」活用
- ・水底質浄化協 第49回技術セミナー開催＝産学官が最新の取組発表
- ・住友商事 石狩市洋上風力アセス＝着床式、15～20MW級
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝実証実験5件を選定
- ・港湾局 全国コンテナ流動調査＝11月に実施

■令和5年10月23日号（第1855号）

- ・港湾知事協 5年度意見交換会開催＝港湾の整備・振興で要望書
- ・港湾局ら ブルーカーボン検討会＝藻場等担い手確保の取組
- ・港湾・空港 リサイクルガイドラインを改訂＝8材料を追加、評価見直し
- ・政府 物流革新緊急パッケージ＝AIターミナル等DX推進等
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁＝床掘や鋼管杭打設工を促進
- ・東京湾大感謝祭 2023 横浜市役所アトリウムで初開催＝「流域3000万人の心を豊かに」

- ・秋田港 トラック自動運転実証＝向浜、外港ふ頭、公道を走行
- ・苫小牧港 ブルーカーボン創出＝WG設置し、議論開始
- ・横浜市 MM新港地区賑わい創出＝対話実施、参加事業者募集
- ・東京港 令和5年上半期港勢＝内貿貨物が増加
- ・横浜港 令和5年上半期港勢＝外貿コンテナ増加
- ・中崎中国地整局長 安全・安心、生産性向上＝建設業と一体で働き方改革
- ・呉港 阿賀地区にROROバース＝地港審了承、水深9m岸壁など
- ・高知港海岸 タナスカ地区実施設計＝区間6・7、延長約210m
- ・広島県内港湾 過去最高のクルーズ船受入＝瀬戸内の魅力に欧米客増加
- ・民間技術説明会（11月21日開催） 広島技調が聴講者募集
- ・広島湾再生「さとうみフェスタ2023」（10月29日開催）
- ・沿岸センター 日韓沿岸技術研究WS＝韓国釜山で4年振り対面開催
- ・AUV戦略 官民プラットフォームが提言案＝2030年産業化に向けた取組
- ・熊谷組 高精度水中測位Sを開発＝「アクアマリネット」
- ・秋田市 新エネルギービジョン素案＝洋上風力、水素、データセンター
- ・MOLTech 函館でビジネスモデル検討＝海洋再生エネで水素製造等「ノルドシエラプロジェクト」
- ・三井E&S 大型荷役クレーン30基受注＝ベトナム・ハイフォンCT
- ・福岡市 バイオ燃料船の実証試験＝清掃船で課題等を検証へ
- ・「港湾の整備・振興に関する要望」（全国知事協）

■令和5年10月16日号（第1854号）

- ・国交省・防衛省 総合的な防衛体制強化＝特定重要拠点空港・港湾
- ・航空局・埋浚協 空港整備で意見交換会＝休日設定やプレキャスト利用
- ・国土交通省 堂故副大臣、國場副大臣会見＝国民の安全・安心確保に尽力
- ・港湾局ら プレジャーボート放置艇対策＝第2回検討会、3水域の管理者らが取組報告
- ・港湾局 4月に技術基準を改訂＝気候変動対応の要求性能
- ・国総研・港空研・振興会 若手技術者交流会を開催＝新本牧、川崎港臨港道路等
- ・港湾局 NACCS連携機能＝サイバーポート、API公開
- ・「全国海の再生・ブルーインフラ賞」みなと総研が創設＝12月15日まで募集
- ・新潟港・空事務所 洋上風力基地港湾に着手＝両津港では耐震岸壁へ改良
- ・羽田鉄道アクセス 清水と約301億円で契約＝ECI方式による初弾工事
- ・川崎港 脱炭素化推進計画策定＝企業等の取組を位置付け
- ・佐渡市ら 両津港で緊急物資輸送訓練＝命のみなとNW推進協議会
- ・東北地整 災害時建設業事業継続＝新たに2社を認定、75社に
- ・北九州港 地港審で港湾計画改訂了承＝RORO機能強化等位置づけ

- ・堺泉北港 汐見沖国際物流ターミナル＝第1工区最終区画の岸壁築造
- ・西之表港 洲之崎地区複合一貫輸送T＝公有水面埋立承認願書提出
- ・川内港 唐浜の水深12m耐震岸＝来年度から築造工事予定
- ・境港湾・空港事務所 命のみなとネットワーク＝塩津漁港で被災時支援訓練
- ・境港管組 脱炭素化推進協議会開催＝ブルーカーボン分科会設立へ
- ・洋上風力 浮体式実証の4候補地公表＝G I 基金フェーズ2、石狩市浜益沖はT L Pで
- ・北開局ら ザ・シンポジウムみなと＝石狩湾新港の可能性と未来
- ・戸田建設ら 新会社設立、S E P保有へ＝1300 t 吊、15MW級に対応
- ・東洋建設 大林社長が現場パトロール＝大洲バイオマスの栈橋工事
- ・J O G M E C ・ N K 洋上風力案件形成加速＝基本協定を締結
- ・商船三井 ウインドハンタープロジェクト＝都ベイエリアで実証へ
- ・工事入札結果（令和5年8月契約分）

■令和5年10月9日号（第1853号）

- ・国交省 コンテナターミナルのセキュリティ＝緊急に実施すべき対応策
- ・R S O 第2回フォーラム開催＝防災を考慮したウォーターフロント
- ・港湾局 気候変動適応策の実装方針＝第7回技術検討委、年度内に取りまとめ
- ・洋上風力 酒田市沖が有望区域に＝準備区域に北海道2海域の浮体式
- ・土木学会 推奨土木遺産認定＝高砂港向島突堤など
- ・港湾局人事 国総研所長に永井氏＝沖縄振興第三担当に山本氏
- ・港湾局 みなとS D G s パートナー＝登録者数が249者に
- ・国交省 海外インフラプロジェクト技術者認定＝11月24日まで公募中
- ・港湾統計速報＝主要6港（5年7月）
- ・空港脱炭素化促進 再エネ活用装置導入補助＝国交省ら公募開始
- ・遠藤北陸地整局長 交通ネットワークの強化＝物流動線のパイプを太く
- ・新潟技調 自動係留装置技術委開催＝今月末から実証試験実施へ
- ・青森港 油川地区に基地港湾機能＝地港審で一部変更を了承
- ・北開局ら えりもブルーカーボン＝コンブ漁場のCO₂吸収量把握
- ・新潟港・空事務所 新潟港海岸シンポジウム＝栗山氏らがディスカッション
- ・第24回新潟技調講演会＝佐渡島の循環を生む酒造り
- ・函館港若松地区クルーズ船岸壁 供用式典を開催＝観光・地域振興に大きく貢献
- ・管理組合ら 四日市港海岸シンポジウム＝海岸整備促進で防災・減災
- ・鹿児島港 鴨池橋梁鋼6径間箱桁上部＝J F E エンジ、川田工業に
- ・宇部港 沖の山地区水深10m岸壁＝今年度予防保全事業で調査
- ・広島空港 R E S A 用地の整備＝用地造成その3手続き
- ・熊本港・空事務所ら くまもんポート八代完成式典＝R C G 大型クルーズ船初寄港

- ・埋浚協会 地整局等との意見交換会へ＝時間外労働規制対応重点化
- ・埋浚協会 5年度港湾技術報告会＝深海底油田開発技術など
- ・北陸地整・埋浚協 若手技術者勉強会開催＝B I M／C I M活用事例等
- ・CP-16001 が完成・引渡 五洋建設らのS E P船＝11月から響灘で稼働へ
- ・日立造船 「カナデビア」に社名変更＝2024年10月から
- ・日鉄エンジ 日鉄鋼構造を統合＝洋上風力市場拡大等に対応
- ・港湾局 みなとオアシス伊勢＝全国160箇所目登録
- ・横浜技調 第14回技術交流会開催＝D X、防災、脱炭素など
- ・港湾局 技術開発課題6件を採択＝コンテナターミナルの生産性向上等
- ・日港連セミナー（10月25日開催）＝会場とオンライン
- ・五洋建設人事（10月1日）
- ・東洋建設人事（10月1日）

■令和5年10月2日号（第1852号）

- ・国交省 技術分科会・技術部会開催＝防災・減災・国土強靱化テーマに議論
- ・北海道分科会 第9期総合開発計画素案＝「食」「観光」「脱炭素化」
- ・港荷協先端研 国際荷役セミナー開催＝リスク管理と生産性向上
- ・P I A N C日本部会 アジアセミナー2023＝航路の埋没問題テーマに講演
- ・国交省 建設分野イノベーション技術研究開発助成＝潜水土の生産性向上等
- ・港湾局 コンテナダメージ確認＝A Iで効率化、実証結果
- ・港湾局 京浜港・阪神港で積替実証＝参加荷主等を募集
- ・港湾法改正 サイバーポートの国管理＝閣議決定で1日施行
- ・名古屋港 新土砂処分場でW T O 2件＝西1工区外側護岸が水切りに
- ・苫小牧港東港 周文ふ頭の複合一貫輸送T＝S C P地盤改良工事が進む
- ・名古屋港 将来を考える会を開催＝ポートアイランドの今後等
- ・青森県 八戸港港湾脱炭素化推進協議会＝市川、河原木の水素拠点化も
- ・北陸国際物流戦略チーム 災害時の代替輸送訓練等＝10/31・11/1 オンライン開催
- ・東京湾大感謝祭2023 10月14、15日、横浜市役所アトリウムで開催
- ・横浜港 「飛鳥Ⅲ」の船籍港に＝郵船クルーズ、7年就航へ
- ・仙台技調 民間技術発表会（11月17日開催）＝発表技術を募集中
- ・大阪港 主航路の増深・拡幅工事＝排砂管敷設へ第2工区予定
- ・鹿児島県議会 古仁屋港に岸壁、燃料タンク＝測量・土質調査、配置検討へ
- ・中国地整ら 物流戦略T部会が政策提言案＝2024問題やC N Pに対応
- ・中国地方物流戦略チーム＝広島港利用者懇談会開催
- ・香川県 高松港脱炭素化推進協議会＝坂出港と連携、年度内計画策定
- ・大阪 I R 液状化対策はセメント系固化＝約21ha、対策費255億円

- ・近畿地整 深日港洲本港航路協議会＝乗船者増、コロナ前水準に
- ・普天間代替施設 大浦湾側護岸工事着手へ＝沖縄防衛局、4件公告
- ・SCOPE 令和5年度現地視察会開催＝秋田県内洋上風力発電の動向
- ・りんかい日産 水中測距システム「ポントス」＝見る、測る、捉えるを実現
- ・東亜建設工業 インドネシア受注拡大へ＝現地法人が稼働
- ・埋浚協会 千葉港で安全パトロール＝マイナス9m岸壁築造現場
- ・輪島市 洋上風力事業誘致協議会＝漁業関係者との合意形成へ
- ・唐津市沖 佐賀県が離島住民説明会＝有望区域指定へ合意形成
- ・JAMSTEC 南鳥島沖で実証試験＝AUV探査手法確立へ
- ・フェリー協会主催 物流危機テーマにシンポ＝2024年問題で提言へ

■令和5年9月18日・25日合併号（第1851号）

- ・国交省港湾局 重要港湾管理者主幹課長会議＝6年度概算要求、施策を説明
- ・都港湾審議会 東京港第9次改訂計画＝新海面コンテナバース延長へ
- ・国交省 クルーズの安全安心確保＝有識者検討会、最終とりまとめを公表
- ・港湾局人事（9月8日）
- ・関東地整 原田港湾空港部長就任会見＝事業の期限内完工目指し尽力
- ・清水港湾・静岡県・松崎町 伊勢湾フェリーで輸送訓練＝伊豆西部の防災NW構築
- ・青森港 油川地区洋上風力基地対応＝仙台技調が係留施設強化業務
- ・ザ・シンポジウム in 石狩湾新港（10月5日開催）札幌市内会場・Web配信
- ・東京港 都審議会です承＝中防内・外の臨港地区指定等
- ・東京都港湾局 離島港湾情報PF構築＝17港のライブ映像を配信
- ・魚谷近畿地整副局長 阪神港の機能強化施策推進＝CNP、働き方改革を支援
- ・神戸港 航路付帯施設の整備促進＝護岸本体築造工事の段階へ
- ・長崎県 長崎港元船地区整備構想へ＝港湾機能を核に地域を再編
- ・九州地整 事業評価監視委員会開催＝北九州港響灘東、西之表港洲之崎、原案通り事業継続
- ・堺泉北港 汐見沖国際物流ターミナル＝鋼管杭の打設等築造進捗
- ・姫路港 広畑地区国際物流ターミナル＝岸壁控え杭の打設工事等開始
- ・神戸港 大阪湾岸道路西伸部事業＝今月入札、主塔部の鉛直載荷試験
- ・長崎港 港湾脱炭素化推進協議会＝今年度内に計画策定目指す
- ・和田信貴事務次官に聴く＝国交省一体で政策推進へ
- ・中国地整 防災エキスパート認定式＝新たに2名を認定し強化
- ・清水建設 SEP船が台湾沖稼働へ＝来年2月から、備船契約締結
- ・青森南洋上風力 つがる市・鯨ヶ沢町沖＝65万KW、方法書の縦覧開始
- ・埋浚協会 5年度港湾技術報告会（9月29日）

- ・工事入札結果（令和5年7月契約分）

■令和5年9月11日号（第1850号）

- ・国交省・水産庁 プレジャーボート放置艇＝新たな対策づくりへ議論開始
- ・港湾局ら クルーズの安全・安心確保＝取りまとめに向け最終議論
- ・洋上風力 2海域の促進区域指定へ＝遊佐町沖、青森県沖日本海南側
- ・環境省 洋上風力の新アセス制度＝国が区域指定前に調査実施
- ・国交省 中小企業イノベ創出事業公募＝S B I R大規模技術検証
- 【特集】全国で進む港湾の中長期構想＝来年度は改訂計画ラッシュも
- ・青森県 油川埠頭に洋上風力基地機能＝人工島でエネ関連発展空間も
- ・船川港 洋上風力補完機能作り＝浮体式の支援基地にも期待
- ・金沢港 将来ビジョンの検討開始＝船舶大型化、CNPに対応
- ・久慈港 長期構想づくり検討進む＝浮体式洋上風力支援基地など
- ・木更津港 長期構想づくり進む＝物流、次世代エネ利用・受入
- ・横須賀港 港湾計画改訂へ準備進む＝新港地区の物流機能強化
- ・川崎港 長期構想（案）を策定＝扇島を水素取扱拠点へ
- ・四日市港 長期構想の検討開始＝国際物流ターミナル機能強化等
- ・三河港・衣浦港 長期構想を検討＝CNP政策等の取込みへ
- ・和歌山下津港 長期構想踏まえ、改訂作業に＝外貿コンテナ、RORO強化
- ・松山港 中長期ビジョン検討＝将来像及び基本方針案示す
- ・志布志港 第1回長期構想検討委開催＝フェリー・RORO船対応など
- ・鹿児島港 中長期ビジョンづくり＝谷山一、二区を耐震強化岸
- ・八代港 国が中長期ビジョン策定＝臨港道路、ふ頭再編等
- ・唐津港 中長期ビジョン策定＝船舶大型化への対応等
- ・平良港 次期港湾改訂計画作業中＝国際クルーズに対応
- ・石垣港 港湾計画の改訂作業中＝船舶の大型化等に対応へ
- ・沿岸センター 創立40周年祝賀会を開催＝磯部氏が生成AI活用で講演
- ・経産省 GX推進対策費1兆985億円＝6年度概算要求、先端分野への投資促進
- ・経産省 6年度税制改正要求＝戦略物資生産基盤税制
- ・川崎市 扇島の土地利用方針策定＝JFE高炉休止、水素拠点等新産業創出
- ・神奈川大・横浜市 海中ソーラー発電実証実験＝みなとみらい地区で開始
- ・アップコン ウレタン樹脂で舗装版修正＝短工期、環境にも配慮
- ・国総研 港湾関係2資料を刊行＝工事CO2排出量推計等
- ・下関港 長府地区港湾関連用地＝市が2区画を分譲
- ・新潟技調 第24回講演会を開催（9月28日、会場・オンライン併用）

■令和5年9月4日号（第1849号）

- ・自民党港湾議連総会 6年度港湾局関係予算議論＝予算確保に向け一層の取組
- ・航空局 空港整備勘定3980億円＝6年度概算要求、羽田空港に680億円
- ・港湾局新規事業 水素等の取扱安全対策＝気候変動リスク評価手法等
- ・港湾局 6年度税制改正要求＝軽油取引税課税免除等
- ・海事局 6年度概算要求122億円＝CN、浮体式洋上風力への対応等
- ・港湾局人事（8月30日付）
- ・関東地整 衛藤副局長が就任会見＝首都圏の港湾空港整備に尽力
- ・石狩湾新港 水深12m国際物流ターミナル＝岸壁整備や既設護岸関連工事
- ・千葉県 木更津港長期構想検討会＝物流、観光など課題を抽出
- ・北陸国際物流戦略チーム＝広域バックアップ専門部会
- ・名古屋技調 第26回民間技術交流会＝聴講者募集中（8日迄）
- ・別府港 石垣地区のふ頭再編計画＝水深8m岸壁、県がPFI導入
- ・大阪港 みなとセミナーを都内で開催＝9つの港紹介、利用を呼びかけ
- ・大分港海岸 乙津地区、鶴崎地区護岸＝基本設計業務の手続きへ
- ・志布志港 長期構想検討委開催＝フェリー・RORO船対応等
- ・愛媛県 松山港中長期ビジョン＝将来像及び基本方針素案
- ・高知港・空事務所 生物共生へ藻場育成調査＝今年度は高知港でも実施へ
- ・大阪府・市 大阪IR説明会を開催＝地盤改良等で開業遅れも
- ・佐賀空港 滑走路延長アセス手続き開始＝2500m化、LCC拠点へ
- ・JAIDA アフリカに質の高いインフラ＝第5回総会、官民連携強化
- ・関係閣僚会議 総合的な防衛体制強化＝特定重要拠点港湾・空港を整備
- ・横浜市 山下ふ頭再開発検討委員会＝学識者会合立上げ議論開始
- ・海洋立国推進功労内閣総理大臣賞＝柴山教授ら6名が受賞
- ・国総研 6年度概算要求まとめ＝気候変動に対応した防波堤等
- ・国交省ら 全国の放置艇実態調査＝前回から1.4万隻減少
- ・港湾局 みなとオアシス和倉温泉＝全国159箇所目登録
- ・五洋建設人事（9月1日付）

■令和5年8月28日号（第1848号）

- ・令和6年度概算要求 港湾関係3150億円＝DX・GX推進、国際競争力強化
- ・二交会 「港湾・空港整備講習会」開催＝管内港湾空港政策の動き紹介
- ・小名浜港 JICA研修員を受入れ＝「港湾開発・計画コース」
- ・沿岸センター創立40周年＝特別講演会を開催（9月6日）
- ・小野寺氏偲ぶ会開催＝港湾界の足跡讃える
- ・国交省 5年度建設投資見通し＝770兆円超2・2%増

- ・ 関東地整 横浜港国際海上CT再編整備＝事業評価監視委員会で審議
- ・ 釜石港 須賀地区でふ頭再編調査へ＝水深10m複合一貫輸送ターミナル検討
- ・ 東北地整 浚渫土砂の有効活用図る＝改質材混合し建設資材を検討
- ・ 苫小牧港 脱炭素化推進協議会開催＝2WG設置、年度末計画策定
- ・ 横浜市 脱炭素イノベーション協議会＝水素の大規模拠点形成へ
- ・ 直江津港 脱炭素化推進協議会＝年度内に計画策定へ
- ・ 舞鶴港 和田国際ふ頭床掘土砂＝上安久線切土処分方策検討
- ・ 大阪港 南港東地区水深13m岸壁＝令和6年事業再開へ実施設計
- ・ 北九州港 洋上風力基地整備、最終区画の地盤改良＝岸壁前面の腹付材撤去も予定
- ・ 川内港 港湾脱炭素化推進協議会＝計画案示し意見交換
- ・ 神戸市 空港島のビジョンづくり＝将来の土地利用等検討へ
- ・ 和歌山下津港 本港地区防波堤（外）改良＝10m泊地の浚渫技術
- ・ 港湾協会九州地区連合会＝第70回総会を八代市で開催
- ・ 東洋建設 石狩湾沖で大水深施工＝TLP型洋上風力、外洋船で係留基礎施工実験
- ・ 港空研とGPI 洋上風力建設時の海洋環境＝両者が共同研究協定を締結
- ・ 環境省 洋上風力の新たなアセス＝検討会で最終取りまとめ
- ・ JBE Jブルークレジット購入募集＝5年度第2回公募
- ・ JBクレジット 5年度第1回公募結果＝延べ29事業者、約74t-CO2
- ・ 岩手県 沿岸北部海域の洋上風力＝可能性検討へ漁業実態調査
- ・ いであ 応用生命科学研究センター開設＝新たな価値創造の研究へ
- ・ 鹿島建設ら 南三陸町で藻場再生＝共同研究を開始
- ・ JETRO 商社マッチング in 知多＝中空を核に商品を海外展開
- ・ 東電RP いすみ市沖洋上風力＝計画段階環境配慮書
- ・ NEDO 洋上風力の故障・事故＝原因解明・早期復旧策調査

■ 令和5年8月14日・21日合併号（第1847号）

- ・ 航空局 空港技術基本計画の素案＝3D空港空間情報の構築等
- ・ 中部国際空港 6年度から滑走路増設へ＝事業評価小委がゴーサイン
- ・ 日本潜水協会 高橋会長に抱負を聴く＝魅力ある潜水産業目指して
- ・ 港湾局 クルーズ受入等補助事業＝第3回公募、9月1日まで受け付け
- ・ 政府 国土強靱化の着実な推進＝関係府省庁連絡会議開催
- ・ 日建連 海洋工事の標語＝入選作品を発表
- ・ 関東地整ら 東扇島で防災訓練実施＝首都直下地震想定、関係機関が連携
- ・ 川崎港 長期構想（案）を策定＝水素取扱拠点の形成等
- ・ 衣浦港 外港地区臨港道路構造＝検討に向け土質調査へ
- ・ 御前崎港 脱炭素化推進協議会設立＝年内に推進計画の策定へ

- ・東京都港湾局 5年度優良工事等表彰
- ・工事入札結果（令和5年6月契約分）
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線橋梁整備＝最終設計へ土質調査の実施
- ・北九州港 響灘東で港湾施設設計業務＝水深12m延長230m岸壁
- ・苅田港 新松山国際物流T＝水深12m岸壁の築造開始
- ・広島港 出島地区国際CT第2B＝岸壁築造工事の手続き開始へ
- ・新居浜港務局 港湾脱炭素化推進計画案＝LNG普及拡大や荷役機械
- ・堺2区防災拠点 防災機能強化へ施設拡充＝利用計画検討業務手続きへ
- ・広島港 宇品地区にクルーズT＝来年3月完成に向け着工
- ・佐世保港 脱炭素化推進協議会＝年度末に計画策定へ
- ・埋浚協会 うみの現場見学会開催＝名古屋港新土砂処分場
- ・WF協会 みなとまちづくりマイスター＝港湾局長賞授与式開催
- ・東洋建設 TLP浮体係留基礎＝国内初、繰返し荷重で杭引抜実験
- ・室蘭市 パワーXと包括連携＝室蘭港を電気運搬船拠点に
- ・SCOPE 研究助成成果発表会＝6年度分は9月公募開始
- ・理科大・港空研・飛島ら コンクリ中の鉄筋腐食測定器＝非破壊測定「Dr. CORR」開発
- ・沿岸センター創立40周年＝特別講演会を開催（9月6日）
- ・沿岸センター 港湾施設維持管理技術＝英語版マニュアル説明会

■令和5年8月7日号（第1846号）

- ・港湾局 CTの情報セキュリティ＝名港教訓に検討委員会立上げ
- ・航空局 自然災害に強い空港作り＝A2-BCP実効性強化
- ・港湾局 サイバーポート進捗管理WG＝港湾物流、8年度から有料化を検討
- ・関東地整・神奈川県 関東大震災100年シンポジウム＝「わがこと」と考え行動を
- ・日ASEAN 次官級交通政策会合＝アクションプラン改訂へ
- ・6年度新規事業採択時評価＝中部空港滑走路増設
- ・港湾局人事（8月1日付）＝久田氏が港湾産業課長
- ・【2023夏季特集】西村技術参事官「港湾を巡る最近の諸情勢と重点施策」
- ・北陸地整 新潟港直轄海岸保全事業＝面的防護、完了式典を開催
- ・八戸港 東京でセミナー開催＝熊谷市長が企業進出呼びかけ
- ・山梨県 空港等新設可能性調査＝リニア開業見据え検討開始
- ・新潟東港 臨港鉄道の延伸整備＝実証試験で整備効果分析
- ・横浜港 本牧D5コンテナT＝3件の設計業務発注予定
- ・北開局 アイコン奨励賞2023＝苫小牧港東防波堤改良等
- ・九州地整 ICT活用し港湾施設調査＝被災現場の点検手法確立へ
- ・北九州空港 滑走路3km化工事公告＝用地造成とオーバーラン改良

- ・ 松山空港 埋免見据え着工準備＝R E S A用地、工期約 10 年予定
- ・ 高松空港 R E S A用地造成で調査＝約 13 万 m³ の土砂が必要
- ・ 徳島飛行場 R E S A用地の整備＝埋立免許申請へ協議中
- ・ 沖縄開発建設部 4 年度優良工事表彰
- ・ 四国地方整備局 工事成績ランキング
- ・ 総会開催 防食・補修工法研究会＝洋上風力でも知見活かす
- ・ 港湾保安機構 第 20 回通常総会を開催＝田所氏が新理事長に就任
- ・ 経産省・I E A L N G産消会議＝メタンガス削減を推進
- ・ 洋上風力 青森県日本海南側協議会＝促進区域案取りまとめ
- ・ 港コン協 「改訂新版 港湾工学」＝沿岸域学会の出版・文化省受賞
- ・ J M U 無人運航船プロジェクト＝M E G U R I 2040 に参画
- ・ 横浜市ら ゼロカーボン市区町村＝6 年度国施策・予算へ提言
- ・ 関東地方整備局 4 年度優良工事表彰
- ・ 五洋建設人事（8 月 1 日）
- ・ 東亜建設工業人事（8 月 1 日）

■ 令和 5 年 7 月 31 日号（第 1845 号）

- ・ 政府 国土強靱化推進会議開催＝基本計画・年次計画策定へ
- ・ みなと総研 津田新理事長に聴く＝時代の要請を先取り研究
- ・ 東京都 ヒアリ等対策連絡会開催＝外来生物法改正で定着防止
- ・ 港湾局 クルーズ受入高度化事業＝5 年度第 2 回実施決定
- ・ 東北地整 男鹿市に給水袋支援＝関東地整、埋浚東北支部協力
- ・ 東京都 小笠原航空路協議会開催＝早期開設に向け、情報共有
- ・ 室蘭市ら 北海道洋上風力フォーラム＝国内外の第一線企業が参集
- ・ 能代港洋上基地 受入れ岸壁等が最終段階に＝泊地浚渫や砕石舗装
- ・ 名古屋港 中空沖新土砂処分場＝航行安全対策検討業務
- ・ 四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁＝整備方策検討業務の手續
- ・ 名古屋港管組 ガーデンふ頭再開発＝協働事業者に大成建設
- ・ 関東地方整備局 4 年度優良工事表彰（局長表彰）
- ・ 北陸地方整備局 I C T人材育成企業
- ・ 北陸地方整備局 工事成績優秀企業
- ・ 姫路港 広畑国際物流 T、控杭工開始＝臨港道橋梁は詳細設計手続き
- ・ 那覇港 港湾脱炭素化推進協議会＝今年度内に計画素案まとめ
- ・ 北九州港 新門司沖Ⅱ期土砂処分場＝実施設計、C I Mモデル更新
- ・ 水島港 航路水深 12m 付帯施設＝鋼矢板工第 2 弾を公告
- ・ 八代港 大築島土砂処分場＝カルシウム改質土で潜堤

- ・高知港海岸 湾口防波堤種崎側＝スリットケーソン細部設計
- ・近畿地方整備局 国土交通行政功労者
- ・中国地方整備局 優良業務履行表彰
- ・九州地方整備局 国土交通行政功労者
- ・JICA・OCDI スエズ運河セミナー開催＝運河通航マーケティング戦略等
- ・洋上風力 全国市町村連絡協議会＝五島市で総会、「はえんかぜ」視察
- ・国総研・港空研 2023 夏の一般公開＝4年ぶり開催、土木技術紹介
- ・埋浚協会ら 港湾工事安全衛生徹底へ＝関東地整管内合同研修会
- ・五洋建設・石本建設 カルシアバケット開発＝改質土の混合を効率化
- ・東洋建設ら 小型CO2回収装置＝作業船への実装予定
- ・白海 小学生対象に現場見学会＝関門航路浚渫と環境学習
- ・名古屋港・三河港 5年度優良工事表彰
- ・東洋建設人事（7月26日、8月1日）

■令和5年7月24日号（第1844号）

- ・稲田局長就任会見 経済、生活を支える港湾＝全体変化捉えて施策に反映
- ・港空リサイクル材 今夏にガイドライン改訂＝新材料の適用等を盛り込み
- ・IMO 国際海運GHG削減戦略＝2050年までに排出ゼロ
- ・環境省ら LNG燃料システム導入支援＝エネ特会で補助事業公募
- ・令和5年海の日 海事関係功労者大臣表彰＝港湾関係33名が受賞
- ・特定港湾施設基本計画＝70港、798億円が閣議決定
- ・石巻港区 雲雀野の水深12m岸壁＝基礎断面の見直し作業等
- ・小名浜港湾事務所 命のみなとネットワーク＝業務艇で緊急物資輸送訓練
- ・横浜港 新本牧地区水深18m岸壁＝WTOで鋼板セル2函製作
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄海岸保全＝日の出胸壁で細部設計
- ・三河港湾 物流効率化に向け調査＝RORO船活用方策整理
- ・衣浦港 外港西防波堤予防保全＝老朽化対応で実施設計
- ・御前崎港 水深12m岸壁改良＝取付部改良施工検討
- ・清水港 新興津地区15m岸壁＝HBケーソン細部設計
- ・名古屋港 清龍丸新設土砂検討業務＝運搬方策でプロポーザル
- ・北海道開発局 5年度港湾空港功労者
- ・熊本県地港審 八代港のコンテナT拡張＝長洲港に土砂処分場計画等
- ・姫路港 広畑地区国際物流T起工式＝播磨臨海地域の発展、CNに期待
- ・北九州港 新門司沖処分場の床掘工＝製鋼スラグ添加し護岸築造材
- ・岩国港臨港道路 立石工事用道路修正設計＝重力式、L型擁壁の整備へ
- ・室津港 防波堤ケーソン2函築造＝来1月ごろ現地据付予定

- ・志布志港 若浜地区防波堤（沖）延伸＝ブロック製作工事3件
- ・高知港海岸 浦戸、タナスカ、御畳瀬＝防護ライン、整備手順検討
- ・九州地方整備局 「海の日」海事功労者表彰
- ・CPG工法研究会 圧入締固研究機構に移行＝開発研設置し普及拡大へ
- ・JOPCA/OCDI 「港湾を巡る世界の動き」＝釜山、パナマなど現地事情講演
- ・環境省 洋上風力の新アセス制度＝7月末委員会取りまとめへ
- ・関西電力・RWE 和歌山県沖で浮体式＝計画段階環境配慮書を縦覧
- ・国総研 優良業務・優秀技術者＝東京湾航路閉塞時分析等
- ・近畿地方整備局 5年海事功労者等表象
- ・東北地方整備局 国土交通行政功労表彰
- ・東北地方整備局 海事関係功労者表彰
- ・関東地方整備局 海事関係功労者表彰
- ・四国地方整備局 海事関係功労者表彰

■令和5年7月17日号（第1843号）

- ・空港整備への新たな動き＝丘珠、屋久島で滑走路延長等
- ・SCOPE 山縣新理事長に聴く＝新卒者の採用等技術者育成も
- ・洋上風力 事業者から情報提供受付＝系統関連の情報収集へ
- ・津田氏が会長に就任＝日港連が理事会開催
- ・港湾局人事（7月11日）
- ・青森県長期構想 世界から選ばれる青森港＝エネ関連の新たな発展空間も
- ・相馬港 耐震岸等4施設の復旧完了＝来年6月の完全復旧目指す
- ・東北港湾 アクションプラン取組状況＝休日確保、担い手育成など
- ・三河港 神野4号岸壁（延長740m）＝予防保全改良方策検討
- ・名古屋港 金城ふ頭85号岸壁＝取付部改良施工検討
- ・清水港 富士見地区岸壁改良＝取付部控工手続き
- ・輪島港 輪島崎地区第6防波堤＝避難港整備で築造工事
- ・御前崎港 女岩地区防波堤（A）＝耐津波性能向上基本設計
- ・横浜技調 第14回技術交流会＝発表テーマを募集中
- ・北九州空港 今秋より滑走路3000m化工事＝用地の整地工等から事業開始
- ・下関港海岸 長府・壇ノ浦地区海岸＝7工区護岸工事の手続き
- ・八代港 大築島土砂処分場＝D護岸被覆B基礎工進捗
- ・三池港 内港北地区航路浚渫工＝固化・運搬工事3件
- ・日高港 塩屋地区港湾機能強化＝泊地マイナス12m埋塞対策
- ・那覇港 みなとまちづくり＝6年度中にマスプラ改訂へ
- ・工事入札結果（令和5年5月契約分）

- ・作業船協会 マイクロプラスチックの回収＝装置実用化にめど、海域実験へ
- ・五洋建設 技研にミュージアム開設＝125年の歴史と技術を紹介
- ・NEDO 風車ウェイクの実観測＝発電効率向上へ事業者募集
- ・横浜市 みなとみらい水素PJ＝水素で「熱」の脱炭素化
- ・横浜港 CONPAS試験運用＝本牧D1・BCで実施
- ・東京港 FC転換型RTG＝脱炭素化、21台導入補助
- ・SCOPE 研究助成成果発表会＝8月4日、ハイブリッド開催
- ・三菱造船と日本郵船 アンモニアと液化CO2＝同一船舶で輸送
- ・IMO MEPC80＝GHG削減戦略を採択

■令和5年7月10日号（第1842号）

- ・港湾局人事 稲田港湾局長、西村参事官＝石橋技総審、遠藤北陸局長
- ・港湾局 臨海部強靱化あり方まとめ＝海上交通NW構築、面的強靱化
- ・港湾局 次世代ユニットロードT中間まとめ＝情報通信技術度入で高機能化
- ・港湾局 クルーズの安全・安心＝最終まとめに向け検討開始
- ・防災・減災プロジェクト 首都直下地震等地震対策＝デジタル等の新技術活用
- ・港湾局 みなとSDGsパートナー＝第4回26者を登録
- ・鹿島港 岸壁上部工の手続き開始＝洋上風力基地、年度内の仕上げに向け準備
- ・秋田港 仮置土砂30万m³運搬＝向浜の土地造成用地に活用
- ・小樽港 3号埠頭にドルフィン＝大型クルーズ船対応整備
- ・四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁＝整備方策検討業務
- ・千葉港海岸 船橋地区直轄海岸保全＝海老川水門基本設計
- ・敦賀港 荷役稼働率向上効果検証＝鞍山北防波堤静穏度評価
- ・名古屋港 中空沖土砂処分場＝基礎工、被覆・根固工
- ・清水港 外港防波堤改良工事＝ハネ部、隅角部の上部工
- ・八戸港 河原木航路泊地（埋没）＝ポンプ浚渫工事等
- ・大阪港 主航路の増深・拡幅工事＝今年度は排砂管敷設部浚渫
- ・中国地整 鳥取県の将来の港湾・空港＝官民による意見交換会開催
- ・中国地整 水島港現場見学会開催＝高校生が港湾施設等見学
- ・和歌山下津港 本港地区防波堤（外）②＝粘り強い化対応2工事
- ・別府港 第三埠頭フェリーバース＝マイナス8m岸壁基本設計
- ・高知港 三重防護整備進捗状況＝高知新港内砂浜区間完成
- ・熊本港 夢咲島地区防波堤（南）＝軟着堤2函築造工事
- ・熊本空港 排水実施設計＝豪雨災害等に対応
- ・指宿港海岸 養浜による地下水影響＝海岸モニタリング調査
- ・港空技術振興会 5年度定時総会を開催＝平野氏特別講演、中国の土地買収に懸念示す

- ・沿岸センター 港湾関連民間技術確認審査＝令和4年度下期評価、6件に評価証交付
- ・佐賀空港 滑走路延長計画P I 実施へ＝2500m化で国際線誘致
- ・長崎県 クルーズ船寄港2222回＝松が枝Tにフォトスポット
- ・北陸地整 自動係留装置で荷役効率へ＝敦賀港のRORO埠頭で試験
- ・国交省 防災・減災対策強化＝第1回配分を決定
- ・海事局 LNGバンカリング＝改訂版ガイドライン公表
- ・近畿みなとの達人＝5年度通常総会開催
- ・経産省 水素保安ポータルサイト＝関連法令や活用事例など
- ・国総研横須賀、港空研＝7月22日、施設一般公開
- ・東洋建設人事（6月29日）

■令和5年7月3日号（第1841号）

- ・港湾局 新国際コンテナ戦略港湾＝中間報告、アジア発日系企業貨物取込み
- ・航空局 空港の維持管理指針見直し＝7年ぶりに大規模修正
- ・港湾局 第89回港湾分科会開催＝特定港湾施設基本計画等
- ・G7三重・伊勢志摩 持続可能な交通の実現等＝交通大臣宣言を採択
- ・港湾局長に稲田氏＝国交省7月4日付人事
- ・港湾局 遠隔操作RTG導入＝東京港と神戸港を新規採択
- ・港湾局 LNGバンカリング＝大阪湾・瀬戸内を新規採択
- ・海事局・エネ庁 省エネ船の開発支援＝更なる輸送効率化
- ・協会・団体人事（6月21日付）
- ・羽田鉄道アクセス ECIで4か所目の手続き＝ターミナル北連絡橋部躯体工
- ・湾口航路事務所 航路浚渫へ環境保全計画＝第二海堡の管理計画も策定へ
- ・仙台塩釜港 第3回CNP協議会開催＝排出量、水素需要を推計
- ・横浜市 6年度国予算へ要望＝国際コンテナ戦略港湾強化等
- ・名古屋港 金城埠頭85号岸壁＝現地着手に向け施工検討
- ・敦賀港 鞠山北地区防波堤改良＝静穏対策の基礎・消波工
- ・室蘭港 崎守地区で地質調査＝洋上風力活用も視野
- ・福岡空港 滑走路新設事業が進捗＝6年秋に土木工事完了へ
- ・福岡空港 新管制塔・庁舎を整備中＝増設滑走路と同時オープン
- ・九州地整 奄美の孤立集落を支援＝命のみなとネットワーク
- ・宮崎空港 誘導路S7改良工事＝老朽化対策で舗装工など
- ・宮崎港・空事務所 細島港岸壁実施設計他＝管内3施設の調査・設計
- ・広島空港 RESAの整備事業＝滑走路用地造成工事等
- ・和歌山下津港海岸 海南地区藤白水門計画地＝作業船水深確保の浚渫工
- ・水島港 塩生公共埠頭延伸整備＝岸壁付帯工事実施設計

- ・境港 外港昭和南地区＝土質調査の手続き
- ・高知港海岸 湾口地区津波防波堤＝桂浜側のケーソン製作
- ・港コン協 空港土木分野を取込み＝港湾空港技術コンサル協に変更
- ・港コン協 航空局と意見交換会開催＝技術課題や防災分野で連携
- ・国交省・経産省 浮体式産業戦略検討会＝競争力強化、市場形成等議論
- ・海事局 水素運搬船の大型化＝日豪間で運送要件見直し
- ・総合海洋政策 海洋基本計画の工程表＝8月頃に取りまとめへ
- ・港湾局 特定港湾施設整備事業＝5年度基本計画案概要
- ・博多港 物流トライアル事業者募集＝荷主・物流、船社・代理店
- ・国交省 交通運輸分野の新技术＝5年度研究課題を決定
- ・JOGMEC CO₂-EORガイドラインを策定